



## アドビシステムズ株式会社が Web サイトの設計からデザイン、構築、運営、管理にいたる あらゆる面をサポートするプロフェッショナル向け Web デザインツールの最新版 Adobe GoLive CS 日本語版を発表

強化された Adobe PDF サポート、高度な CSS オーサリング、  
そして Adobe InDesign CS との連携強化により新たな次元の  
ワンソース マルチユース環境を実現し、GoLive CS として登場

**【2003 年 12 月 4 日】**

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石井 幹）は本日、Web デザインに関わるクリエイティブプロフェッショナル向けに、Web パブリッシングツールの最新バージョン「Adobe® GoLive® (アドビ ゴーライブ) CS 日本語版」を発表しました。Adobe GoLive CS は Windows® 版および Macintosh® 版での発売となり、アドビストア (<http://store.adobe.co.jp/>) および全国のアドビ製品取り扱い企業を通じて販売されます。アドビストアでは本日より予約受付を開始します。製品の発売は 2004 年 1 月中旬を予定しています。Adobe GoLive CS の価格は、以下の通りです。

### Adobe GoLive CS 日本語版 (Windows 版 / Macintosh 版)

#### アドビストア提供価格 (消費税、送料別)

■通常版	24,800 円
■アップグレード版*	12,100 円
■アカデミック版	9,200 円

\* アップグレード版の対象は GoLive 4.0、5.0、6.0 ユーザです。

Co-Author™ CD 追加ライセンス 11,600 円

※ Co-Author CD 追加ライセンスの受注は製品発売予定の 2004 年 1 月中旬より開始致します。但し、アドビストアのみでの販売となります。

Adobe GoLive CS のバージョンは、最新の 7.0 ですが、製品名よりバージョン番号をとり、Adobe GoLive CS とすることで、Adobe Creative Suite を構成する製品としての連携感、統一感を図りました。

Adobe GoLive CS は、本日発表された Adobe Creative Suite 日本語版を構成する主要製品のひとつです。Adobe GoLive CS は、Adobe InDesign® CS の「GoLive パッケージ」、GoLive Co-Author、また、カスケーディングスタイルシート (CSS) の高度なビジュアルオーサリングと Adobe PDF ファイルのサポートの拡張など画期的な機能により、Web サイトのデザインと制作の生産性を大幅に向上させます。CSS に完全対応したことで、業界標準に準拠した強力なビジュアルオーサリング環境を提供します。GoLive パッケージ機能は、印刷用に作成されたコンテンツを Web で再利用を可能にし、さらに強化されたワンソース マルチユースを実現します。また、GoLive Co-Author はクライアントサイドでの更新作業を可能にし、Web 更新作業効率化させることができます。ターゲットユーザは、Web 専門または紙も Web 制作も扱う Web 制作会社、一般企業そして教育機関となります。

Adobe GoLive CS が提供する業界標準に準拠した強力なビジュアルオーサリング環境によ

り、デザイナーは CSS エディタによるビジュアルオーサリング環境で最新の Web サイトを簡単に制作することが可能になります。Adobe GoLive CS では、今回 CSS に完全対応するためにソースコード、アウトラインモード、レイアウトモード、ライブレンダリングウィンドウのエンジンをすべて書き換えました。CSS Level2 および CSS-P (Positioning HTML Elements with Cascading Style Sheets) への対応により、表現豊かな Web サイトをテーブルではなく CSS ベースでデザインできるようになります。また、ソースコードの自動入力機能が追加され、ユーザはポップアップリストから直接タグをソースコードエディタに取り込み、手入力と同じように記述することができます。Adobe GoLive CS は、Web デザイン製品として唯一、コード、レイアウト、または CSS に適用した修正をリアルタイムで表示するライブレンダリングウィンドウを提供しています。CSS 対応に加えて、Adobe GoLive CS には、QuickTime™ファイルのオーサリング機能も拡張しています。

Adobe GoLive CS は、アドビ製品共通のインタフェイスを採用しているため、Adobe Photoshop®、Adobe Illustrator® に使い慣れているデザイナーはすぐに使いこなせるようになります。また、カラーマネジメントについてもアドビ CS 製品共通のカラーエンジン Adobe Color Engine(ACE) を搭載しており、ワークフロー全体で効率的なカラーマネジメントを実現します。

Adobe InDesign CS に新たに搭載された「GoLive パッケージ」機能によって、ワンソース マルチユースが実現しました。デザイナーは InDesign ファイル上のテキストや画像などのアセットを、GoLive CS に簡単に配置できます。これにより、例えば印刷物と Web を連動させたキャンペーンの作成に必要な時間を大幅に削減できます。また、「スマートオブジェクト」が強化されたことにより、ユーザは、psd ファイルの複数レイヤーを 1 回で Web 用に最適化できるようになり、作業効率が向上しました。

Adobe GoLive CS では、Adobe PDF サポートを強化し、アプリケーションから直接 Adobe PDF を開くことができ、PDF 内に埋め込まれたブックマーク（しおり）やリンクの設定、編集が迅速に行えます。また、Adobe PDF プレビューウィンドウを使用して、ページレイアウトやサイト設計図を素早く Adobe PDF に変換し、クライアントレビューのために送付することができます。

Adobe GoLive CS は、Watchfire™の新機能である WebXACT™との連携が図られており、「WebXACT」パレットを使用して、サイトの品質、プライバシーおよび米国リハビリテーション法第 508 条と W3C のアクセシビリティ基準への準拠、その他さまざまな検証を行うことができます。

Adobe GoLive CS に付属している GoLive Co-Author は、クライアントサイドで、デザイナーが GoLive で作成した Web ページのテキストを変更したり、更新することができるソフトウェアです。GoLive Co-Author をクライアント側に提供しておけば、簡単な修正はクライアント側で行うことができるため、デザイナーはよりクリエイティブな作業に時間を充てるできるようになります。GoLive Co-Author は、Adobe GoLive CS に 1 つ付属していますが、1 ライセンス単位で追加購入することができます。

アドビ システムズ社 クリエイティブプロフェッショナル製品担当上席副社長のジム ヒーガー (Jim Heeger) は、「Adobe GoLive CS の新機能によって、デザイナーが印刷物向けに組んでいたワークフローを迅速に Web 向けに移行させることができ、Web オーサリング

作業を進化させます。何百万という Web サイトで利用されている Adobe PDF (Portable Document Format) への対応を強化し、シンプルな PDF ワークフローを提供します。また、Adobe GoLive CS は、印刷向けに作成されたコンテンツを Web で使用することができ、ワンソース マルチユース環境を実現しています」と述べています。

## **Adobe GoLive CS 日本語版**

### **必要システム構成 \***

#### **Macintosh 版**

- PowerPC® G3、G4、G5 プロセッサ
- Apple® Mac® OS X v.10.2.4 ~ 10.2.7 日本語版および Java Runtime Environment 1.4.1
- 128 MB 以上の RAM (192 MB 以上を推奨)
- 200 MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 1,024 × 768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- 16 bit 以上のカラー 表示が可能なディスプレイ、ビデオカード (24 bit カラー以上を推奨)
- CD-ROM ドライブ
- マルチメディア機能を使用するには QuickTime 6.3 と QuickTime 3GPP コンポーネントが必要

#### **Windows 版**

- インテル® Pentium® III、または 4 クラスプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft Windows 2000 日本語版 (Service Pack 3)、Windows XP 日本語版
- 128 MB 以上の RAM (192MB 以上推奨)
- 200 MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 1,024 × 768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- 16 bit 以上のカラー 表示が可能なディスプレイ、ビデオカード (24 bit カラー以上を推奨)
- CD-ROM ドライブ
- マルチメディア機能を使用するには QuickTime 6.3 と QuickTime 3GPP コンポーネントが必要

\* 必要システム構成は、製品出荷前に変更されることがあります。

Adobe GoLive CS 日本語版に関する詳しい情報は、以下の URL をご参照ください。

<http://www.adobe.co.jp/products/golive>

### **アドビ システムズ社について**

アドビ システムズ社は、人々のそして企業間のコミュニケーションをより豊かにするために、業界をリードするデジタルイメージング、デザインならびにドキュメント技術のプラットフォームを、一般ユーザ、法人ユーザおよびクリエイティブプロフェッショナル向けに提供しています。アドビ システムズ社の 2002 年度の売上は 10 億米ドル超でした。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。